## （特非） エバーラスティング・ネイチャー

# ウミガメにおける海洋ゴミ問題のモニタリング調査と誤食ゴミを活用した参加型啓発プログラムの開発

ひろげる助成 3年目 実践

活動地域 関東

| | |
|---|---|
| ウミガメ個体調査数 | 192頭 |
| イベント参加者数 | 68人 |
| 今年度計画の達成度 | 100％ |
| 目標達成度 | 100％ |

オサガメ（世界最大のウミガメ）調査を実施

### 苦労した点と工夫した点

**■苦労した点**

新型コロナウイルスの感染状況と職員の出張が重なることで、現場で調査できるスタッフが少ない時期もあり、人員が不足している時期があった。

**■工夫した点**

SNSを使い積極的にストランディング（漂着）調査や海洋ゴミに関する情報を発信するよう努めた。

### 課　題

海洋ゴミの生物への影響は未解明な部分が多く、現状把握が急務となっている。

### 目　標

海洋ゴミ問題についてウミガメへの影響を解明し、一般へその情報を拡散する。

### 活動内容と成果

●ウミガメストランディング（漂着）個体及び混獲個体の調査を192頭に対して行った。過去最高の調査数となった。また、小笠原の捕殺個体も加え、ゴミの誤食状況を調べた結果、平均7割のウミガメが誤食していた
●ウミガメのフンに含まれるマイクロプラスチックを分析した
●ストランディング（漂着）個体調査に関する対面イベントを6月に実施。また、10月にはゲスト講師をお招きしてのオンラインイベントを実施。延べ2回でアンケートは回答が得られた34人のうち33人が「環境問題への意識が変化した」と回答した

ウミガメのフンの分析を実施

ウミガメ個体はその場で解剖を行い埋設する

### 全助成期間の活動を振り返って

プロジェクト期間の3年間で、過去と比べて多くの調査を行うことができた。メインの海洋ゴミとの関連性に関しては、ウミガメが誤食していたゴミサンプルを分析することで、誤食の傾向が見えてきた。ウミガメの生態はまだ謎な部分が多く、今回のプロジェクトで得たデータは貴重なデータとなる。自分自身もプロジェクトに主体的に関わることで成長することができたと感じている。

〒221-0822
神奈川県横浜市神奈川区西神奈川3-17-8 4F
電話：045-432-2358
E-mail：info@elna.or.jp
HP：https://www.elna.or.jp/

### 今後の展望

今後も継続的にウミガメ漂着個体の調査を継続していく。今回のプロジェクトで得られたデータを、今後のウミガメの保全・研究に役立てられるように、発表できる体制を作っていきたい。また、海洋ゴミの問題はまったなしの状況だ。環境問題に関心をもち、行動できる人を増やすべく、海洋生物や海洋環境への学びが得られるようなプロジェクトをこれからも開発していきたい。